

項目	全血献血		成分献血(献血ルーム)	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%)	
年齢	16歳～69歳 ^{※1}	男性:17歳～69歳 ^{※1} 女性:18歳～69歳 ^{※1}	18歳～69歳 ^{※1}	男性:18歳～69歳 ^{※1} 女性:18歳～54歳
体重	男女とも 45kg以上	男女とも 50kg以上	男女とも 45kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	男女とも 12.0g/dL以上	
血小板数	—	—	—	15万/ μ L以上
1年 ^{※2} に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男性:6回以内 女性:4回以内	男性:3回以内 女性:2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
1年 ^{※2} に献血できる 総献血量 (1年は52週として換算)	200mL献血と400mL献血合わせて 男性:1,200mL以内 女性:800mL以内		—	—

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

- 献血いただく方の安全を考慮して、体重及び血色素量については男性女性とも以下の基準によりご協力をお願いしています。
 - 体重:200mL献血、血漿成分献血及び血小板成分献血は、体重45kg以上の方にご協力をお願いしています。
 - 血色素量:血漿成分献血及び血小板成分献血は、血色素量12.0g/dL以上の方にご協力をお願いしています。
- 献血いただいた血液は、血小板が4日間、赤血球が21日間など、輸血に使用できる期間が限られており、それを過ぎると患者さんにお届けすることができなくなってしまいます。献血者の皆様の善意を無駄にすることなく、患者さんのもとへ血液を過不足なく安定的にお届けするために、献血の種類を限らせていただいたり、血液型によっては献血時期の延期をお願いしたりすることがありますので、ご了承ください。
 - 全血献血のうち、医療機関で必要とされる血液の約95%は400mL献血であり、厚生労働省から「献血を推進するうえでは400mL献血を基本として行う」との方針が示されています。このため、200mL献血は「できる限り献血を経験していただくことが重要」(厚生労働省)との観点から、10代の方及び初めて献血される方に限りご協力をお願いしています。
 - 企業、団体等の事業所へお伺いする献血バスでは、400mL献血へのご協力をお願いしています。(200mL献血は実施していません)
 - 高校、大学、専門学校等の学校へお伺いする献血バスでは、少子高齢化が進む中「若年層の献血推進が非常に重要」(厚生労働省)との観点から、可能な限り400mL献血へのご協力をお願いしていますが、200mL献血の受け付けも行います。